

おおたわら 社協だより

ふれあいネットワーク

発行所 大田原市浅香3-3578-17
大田原市福祉センター内
社会福祉法人
大田原市社会福祉協議会
発行人 会長 津久井 富雄
発行日 平成28年6月1日
印刷所 (株)エヌ・シー・シー

✿ ふくしとは、「ふだんのくらしのしあわせ」を、みんなでつくる活動です。✿

(第198号)

これからの10年、
またその先の地区社協活動を考えよう!



国際医療福祉大学医療福祉・マネジメント学科
林 和美 准教授の講話



グループに分かれての話し合い

地域住民が主体となり、地域の福祉活動を進めていく「地区社会福祉協議会（地区社協）」から代表にお集まりいただき、3月10日、市福祉センターで「地区社協連絡会議」を開催しました。はじめに、国際医療福祉大学医療福祉・マネジメント学科林和美准教授から、「地区社協の活動に求められているもの」と題して、講話をいただきました。

日本は、一気に高齢化が進み、2025年には、団塊の世代の方々が75歳以上となり高齢化率が約30%になると推測され、若年層の減少により

国の税収などが減り、医療保険・介護保険・年金など、制度の充実には限界がある。

そのようなことから、「住民が自分たちでできることは住民がやる」ところが求められてくる。地区社協には、住民主体の活動で、地域福祉を進めていく「チカラ」がある。

これから10年またその先を考えた活動をしてほしいと、熱心に話してくださいました。

その後、4グループに分かれ、「どんな地区社協活動が考えられるか」「そのためには、どんなことが必要か」について話し合いました。

目次

- P1.....地区社会福祉協議会連絡会
 - P2.....平成28年度事業計画
 - P3.....平成28年度収支予算（概要）他
 - P4.....寄付・新任福祉委員紹介
 - P5.....学童・生徒のボランティア活動推進モデル事業報告
与一いきいきメイト 他
 - P6.....地域で見つけたほっとスマイル・
ほくらのまちのウォークラリー-実行委員募集 他
- 裏面
P1~2...ボランティア情報紙「だいすき」

平成28年度大田原市社会福祉協議会 事業計画

3月23日開催の理事会、3月25日開催の評議員会において、平成28年度の事業計画及び予算が承認されました。

だれもが、住み慣れたまちでいつまでも、安心して暮らせるよう、地域福祉を推進してまいります。市民の皆様をはじめ、自治会、ボランティア、企業、行政など、多くの皆様と一緒に様々な地域福祉事業や活動を行います。

重点事業

- 生活困窮者自立支援事業
- 安心生活見守り事業
- 福祉教育（ふくし共育）推進事業
- 障害者児相談支援事業



I 地域福祉の推進・発展のための人づくり、地域づくり事業

1. 安心生活見守り事業 ①市内12地区で見守り活動を展開
2. 第2次地域福祉活動計画の推進
3. 小地域福祉活動
 - ①福祉委員（小地域福祉ネットワーク）活動推進事業
 - ②地区社会福祉協議会活動支援 ③友愛訪問活動の支援
4. ボランティア活動の振興
 - ①ボランティアセンター事業・ふくし茶話会の開催・災害ボランティア講座の開催・ボランティア情報の提供・中高生向け講座の開催 ②災害ボランティアセンター運営連絡会の開催
5. 福祉教育（ふくし共育）推進事業
 - ①小・中学校での福祉教育の支援 ②ほくらのまちのウォークラリーの支援
 - ③社協だよりの編集・発行、ホームページの運営 ④社会福祉士養成課程実習生の受入・指導



II 福祉サービスを利用しやすくするための支援事業

1. 生活困窮者自立支援事業 ①自立相談支援事業
2. 各種相談事業の実施 ①心配ごと相談 ②福祉金庫貸付事業 ③生活福祉資金貸付事業
3. 日常生活自立支援事業（愛称 あすてらす）の実施



III 在宅福祉サービス事業 ～民間事業者の参入しにくい地域への展開～

1. 介護保険サービス
 - ①居宅介護支援事業（サービス利用計画の作成 ほか） ②訪問介護事業（ホームヘルプサービス）
 - ③生活支援ホームヘルプサービス
2. 障害福祉サービス
 - ①障害者児相談支援事業（サービス利用計画の作成 ほか）
 - ②障害福祉サービス事業（居宅介護、重度訪問介護、同行援護、移動支援事業）
3. その他のサービス
 - ①日常生活用具貸与事業 車いす、ギャッジベッド（※介護用手動ベッド）
 - ②リフト付き自動車貸出事業
 - ③高齢者等外出支援事業 ④福祉サービス適正化事業
 - ⑤介護支援ボランティアポイント制度事業



IV 法人の基盤強化事業

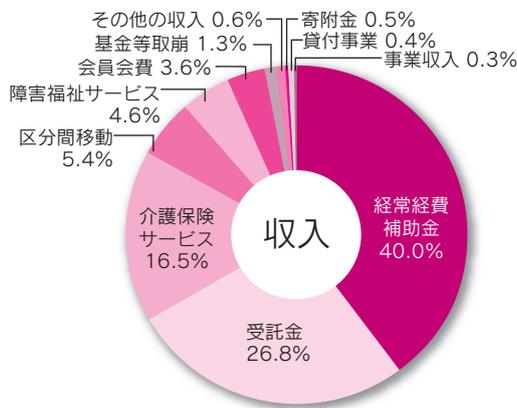
1. 福祉のまちづくり市民参加運営事業
 - ①理事会、評議員会の開催 ②会員加入の促進
2. 基金・寄付事業
 - ①善意銀行の運営 ②地域福祉基金 ③赤い羽根共同募金運動の推進
3. その他
 - ①大田原市福祉センターの管理運営

平成28年度社会福祉協議会収支予算（概要）

【収入の部】

< 経常活動 > (単位：千円)

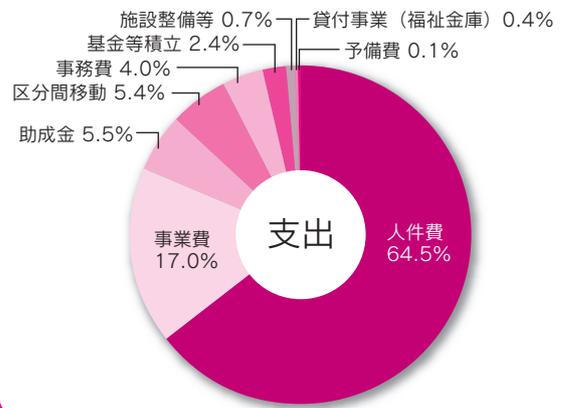
会員会費	9,540
寄附金	1,200
経常経費補助金	105,124
貸付事業	921
受託金	70,565
事業収入	675
介護保険サービス	43,360
障害福祉サービス	12,192
その他の収入	1,606
基金等取崩	3,505
区分間移動	14,272
計	262,960
収入総額	262,960



【支出の部】

< 経常活動 > (単位：千円)

人件費	169,715
事務費	10,472
事業費	44,844
安心生活見守り事業、広報発行、ボランティア講座、心配ごと相談、日常生活自立支援事業、介護保険サービス、障害福祉サービス、高齢者等外出支援事業等	
貸付事業（福祉金庫）	922
助成金	14,411
施設整備等	1,802
基金等積立	6,222
区分間移動	14,272
予備費	300
計	262,960
支出総額	262,960



～あたたかい地域づくりのために～

平成28年度大田原市社会福祉協議会 会員加入をお願いします。

毎年、皆様からお寄せいただいた会費は、住民の方々が主役の地域福祉活動に活用させていただいております。本年度も会員となっただき、あたたかい地域づくりのためにご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

- ◆ 普通会費（自治会を通して1世帯500円）
- ◆ 特別会員（会社・事業所、商店、篤志家等 年額1,000円）
- ◆ 賛助会員（福祉施設等 年額5,000円）

会費の使いみち

- 12地区社会福祉協議会活動費
- 12地区見守り隊活動支援
- 福祉委員活動支援
- 社協だより・ホームページ
- 福祉ボランティア講座開催

※自治会未加入の方で会費にご協力いただける方は市社協にご連絡ください。
※年間を通して会員加入は受付しております。

【新任事務局長紹介】



さとう ひろし
佐藤 宏

4月より、事務局長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

地域福祉の主役であるみなさまが、共に支え合い、安心して暮らしていただけるよう、みなさんと一緒に地域福祉を推進してまいります。

【黒羽見守り助け合い隊】

主任紹介



すずき まさお
鈴木 正雄

地域の皆様方のご協力により、安心して元気に暮らせる地域づくりに貢献できればと思います。

寄付報告

平成28年3月16日から5月15日までに、社会福祉のためにお寄せいただいた寄付の報告をいたします。皆さまのあたたかい善意に心より感謝申し上げます。

＊大田原市社会福祉協議会寄付＊

- ♥ 関東西濃運輸労働組合大田原分会様…………… 70,000円
- ♥ 金田南地区公民館レザークラフト教室様…………… 6,774円
- ♥ 永岡久明様…………… 1,000円

＊大田原市善意銀行寄付＊

- ♥ 栗原敏子 (428・429回) 様…………… 60,000円
- ♥ 東芝グループ那須連合様…………… タオル200本



東芝グループ那須連合様

大田原分会様
関東西濃運輸労働組合

平成28年度福祉委員

～見守り活動のアンテナ役・関係機関への連絡役を目指して～

福祉委員の3つの役割

- ①広げる…ご近所にも協力を呼びかけ、見守りの目を広げていきます。
※安心生活見守り事業の地区見守り隊の一員として活動していきます。
- ②見つける…地域で見守りが必要と思われる方や気になることを発見します。
- ③つなげる…気になることは、自治会長さん、民生委員児童委員さん、市社協・地域包括支援センター、市につなげます。

自治会名	福祉委員名	自治会名	福祉委員名	自治会名	福祉委員名	自治会名	福祉委員名
大久保町	林 美穂	中田原	徳原 弘美	薄葉第3団地	黒木 建二	矢倉	高梨 初枝
寺町	小林 千代	中田原	緑川 三男	野崎ニュータウン	山口 洋子	築地	小泉 靖子
上町	吉田 靖夫	河原	名倉 宏達	岩井町	尾引 理恵	奥沢	渡辺 千代子
荒町	渡辺 千代子	上深田	松田 民司	桜町	石井 和一	上町	益子 靖子
仲町	田口 恭子	町島	渡邊 宣則	上町	森 睦朗	下町1区	鈴木 玲子
下町	篠崎 洋子	荒井	栗田 実	仲町	大柿 利之	下町2区	弓座 節子
大手	伊藤 眞佐江	岡	鈴木 隆雄	下町	小浦 道夫	大豆田	澤田石 律子
栄町	加藤 増枝	今泉	角田 重子	荒町	菊地 有子	余瀬	小池 愛子
清水町	鈴木 和江	戸野内	小針 貞夫	新町	千代田 芳子	余瀬	阿久津 京子
元町	伴 加代子	富池	荒井 正明	松原	滝田 法幸	蜂巢	益子 喜美子
七軒町	藤田 弘子	市野沢	蜂須賀 明	大沢	石崎 幸一	篠原	磯 孝子
旭町	稲垣 清也	練貫	小池 千代子	平山	宮本 正行	松木沢	朝野 直子
新屋敷	蜂巣 眞美	羽田	星野 芳典	佐久山南部	武藤 仁志	松木沢サイプレス	松本 ヨシ子
新道	増淵 幸子	乙連沢	磯 康雄	藤沢	石田 知久	寒井南部	田代 幸子
川下刈切平林	中澤 あつ子	小滝	渡辺 修一	琵琶池	中村 美智夫	寒井本郷	中村 新一
小泉	室井 敬子	練貫ニュータウン	北澤 勝	大神	花塚 光明	寒井北部	白井 和子
浅野	印南 忠雄	小滝苑	日永 節子	大神南部	石崎 富子	寒井西部	久保川 浩史
神明町	藤田 カツノ	小宿	五十嵐 孝夫	福原	小河原 貞一	中野内上	弓座 文子
西原	渡邊 怜子	荒屋敷	瀬尾 敏香	福原南部	齋藤 勝男	中野内下	益子 トシ
原町	磯 眞一	北金丸	新江 俊弘	狭原	諏合 和明	河原上	小河原 明
深川	平山 治子	南金丸	國井 芳雄	小船渡	花塚 明男	河原下	井上 孝子
成田町	馬崎 みな子	南金丸南部	藤田 久子	湯津上(上)	磯 久雄	両郷	平井 久子
沼の袋	木村 喜美江	上奥沢	津久井 文子	湯津上(下)	深澤 正夫	寺宿	鈴木 愛子
紫塚	井上 正夫	鹿畑	村田 啓子	飯塚(二輪~銀内)	飯塚 悦子	木佐美	関谷 ミチ
富士見ハイツ	秋山 星子	倉骨	松本 正弘	佐良土(仲宿~田宿)	佐良土 久子	大久保	渡邊 信子
経塚	坂内 ヨシ子	赤瀬北大和久	櫻岡 昇	佐良土西	奥村 美千子	久野又	雲井 和子
赤堀西	加藤 ハツイ	親園北区	植木 智恵子	蛭畑	秋本 美恵子	大輪上	弓座 初枝
富士見	村田 美代子	親園南区	小沼 儀市	蛭田	墨谷 恵美子	大輪下	古林 一美
富士山下	西田 恵子	実取	近部 克夫	品川	野村 正平	川田	大森 信子
赤堀東	増田 道子	滝沢	高橋 美保子	新宿	坂主 啓子	須佐木上	檀淵 春美
若草	益子 悦子	滝岡	大島 礼子	片府田	鈴木 義一	須佐木中	益子 美雪
若葉	道下 勝美	花園	福原 春雄	中の原	深澤 恵子	須佐木下	長山 芳子
加治屋	池田 敏夫	宇田川	阿久津 孝幸	田町	大宮司 まゆみ	須賀川上	吉成 明美
美取団地	白坂 美輝恵	荻野目	橋本 三四士	前田1区	大森 房江	須賀川中	須藤 幸恵
大和久	中山 秀樹	宇田川ニュータウン	南部 仁志	前田2区	殿森 恵美子	須賀川下	屋代 千恵子
雇用促進住宅	印南 明美	上石上	小野崎 収	前田3区	小藤 悦子	雲岩寺	鈴木 イク子
雇用促進住宅	室井 元二	下石上	矢板 和幸	堀之内	平野 ゆう	露久保	岡 房子
紫塚ニュータウン	内山 智子	野崎	長嶋 昌子	北区	石川 昇	川上	益子 留子
富士見ニュータウン	高橋 末広	野崎東町	松本 好	南区東	佐藤 悦子	南方1区	鈴木 美取
新富士ニュータウン	桑野 正三	上薄葉	松本 裕之	南区西	荒牧 美佐江	南方2区	鈴木 美智子
富士見中央	格和 伸予	薄葉団地	松田 礼子	八塩	吉成 博美		
川下刈切	谷田部 健吾	薄葉第2団地	田中 靖和	北滝	齋藤 和男		
若草ニュータウン	日野 真人	中薄葉	吹上 恵美子	片田	神長 隆子		
中田原	片岡 光臣	平沢	鶴野 裕司	亀久	立花 京子		

任期：平成28年4月1日～平成30年3月31日

(敬称略)

学童・生徒のボランティア活動普及事業 (小地域で考える福祉教育推進モデル事業) 平成27年度の活動

この事業は、学校、社協、地域住民が協働して、児童・生徒と共に、地域での様々な生活課題を学習し、自らの地域を見つめ、皆でより良い暮らし(共生)を目指す取り組みを企画し、福祉教育の推進を図ることを目的として、次のとおり実施いたしました。

している大人とまちづくりについて考え、話し合いました。出席者57人。福祉教育支援(年間)

市内小・中学校等の学習の場へ、地域福祉活動に取り組んでいる方や障がい当事者、ふくし共育ボランティア「グループささえ」を中心とする地域のボランティアと共に社協職員が出向き、学校での福祉教育を支援しました。実施回数等32回、延べ参加者数1,125人。地区社協「食事サービス」体験(夏休み・冬休み期間中) 地区社協ごとに実施している「食事サービス」(毎月1~4回)に中学生や大学生が参加し、地域活動の体験を行いました。福祉教育副読本「ともに生きる」の発行と配布 学校で児童・生徒に福祉について学んでもらうため、副読本を配布しました。その他 「子ども社協だより」の発行、福祉教育アンケートや状況調査等を行いました。



「与一いきいきポイント制度」スタート!!

65歳以上の市民を対象とした介護支援ボランティアポイント制度「与一いきいきポイント制度」がスタートしました。介護予防のためのボランティア活動「いきいき活動」を通じて、高齢者の社会参加と介護予防の推進を図り、健康でいきいきとした地域社会づくりを推進することを目的とし、「いきいき活動」をしてポイントをためると子育て支援券に交換できます。

「与一いきいきポイント」になるには? 「与一いきいきポイント養成講座」を受講したあと、①「与一いきいきポイント」に登録する ②「いきいきポイント登録証」と「与一いきいきポイント手帳」が発行される ③「ほほえみセンターでいきいき活動」をする ④「ほほえみセンター」で活動 ⑤1回に対し1個スタンプを押しもらう(活動期間は、

平成29年1月~12月) たまったスタンプをポイントに換え、子育て支援券に交換することができ(ポイントの交換は、翌年の1月から3月)

「与一いきいきポイント」の活動は?

- ほほえみセンターで「いきいき活動」をする。 ① 与一いきいき体操(必ず実施) ② レクリエーション等に参加する方のお手伝い ③ 話し相手 ④ お茶出し ⑤ 行事のお手伝い等



いきいき活動中に気を付けることは?

- ① 笑顔で楽しく介護予防に努めましょう ② 不安にさせない ③ 高齢者の思いや行動を尊重しましょう ④ 高齢者のできることを見守りましょう ⑤ 活動中に知り得た個人情報、決してもらさない ⑥ 自分自身の健康づくりに努めましょう

平成28年度 与一いきいきポイント養成講座

「与一いきいきポイント」とは、養成講座を受け「いきいき活動」を行う方のことです。◇対象者 市内に住所があり、①65歳以上で、介護認定を受けていない方で、②介護保険料や市税等滞納がない方 ◇定員 40名程度(応募多数の場合は、調整することもあります) ◇申込先 市社協(巻末まで) ◇申込締め切り 6月24日(金)まで

日程(全日程の受講が必要)

No.	日程	内容	時間	会場
1	7月26日(火)	開講式・介護予防 他	9:30~11:30	市福祉センター
2	8月9日(火)	ボランティア活動 他	9:30~11:30	
3	8月23日(火)	与一いきいき体操 他	9:30~11:30	
4	9月8日(木)	リスク管理・運動 他	9:30~12:00	
5	9月21日(水)	認知症について 他	9:30~12:00	
6	9月26日(月)~11月18日(金)	いきいき活動実習	※おたっしゅクラブの開催時間による	ほほえみセンター
7	11月24日(木)	閉講式・修了書交付 他	9:30~11:30	市福祉センター

**「ともに生きるまちづくり」を目指して活動しませんか!!
ぼくらのまちのウォークラリー実行委員募集**

子どもから大人まで、ハンディのある人もない人もいっしょのグループで力を合わせてゲームに挑戦し、楽しみながらコースを歩く、ぼくらのまちのウォークラリー(10月22日(土)実施)の企画・運営をぜひ一緒にやってみませんか?

- ▶活動期間 7月~10月まで月1・2回程度集まります。
- ▶場所 市福祉センター、国際医療福祉大学リハビリテーションセンターほか
- ▶対象 市内にお住まいの方、または市内に勤務、在学している方
- ▶申込方法 実行委員会事務局(市社協)へお電話ください。
- ▶申込〆切 6月22日(水)まで



実行委員を募集します!

**地域で
みつけた
ほっと
スマイル**

「介護予防講話」
頼高サク子 さん



「自分だけではなく周りの方も一緒に健康であってほしい」と、笑顔で話される頼高さんは今年で90歳。保健師・健康管理士の資格を活かし、地域や近所の方と高齢になっても元気に暮らそうと、5年前から介護予防として、「たんぽぽの会」を立ち上げました。会では、認知症予防にと、笑い・歌・お話・ダンス・小物づくり等など、楽しい時間を過ごされています。「健康についてのお話」も、とつてもためになります。



あすてらす
(日常生活自立支援事業)
とは...

※預かることができないもの
：宝石、書画、骨董品、貴金属、株券、小切手など
☎028712317375

- ①年金証書
- ②貯金通帳
- ③権利証
- ④契約書類
- ⑤保険証
- ⑥実印・銀行印

- 福祉サービスの利用援助
- 日常的な金銭管理サービス
- 書類等預かりサービス
- 保管できる書類等

認知症の方・知的障がい者・精神障がい者・身体にハンディのある方に対し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などの援助を行うことで、在宅での自立した生活を支援する事業です。
市社協(基幹社協)に配置された専門員が利用者の相談に応じ、利用者ごとに適切な支援計画を作り、生活支援員が直接援助を行います。

各相談の日程 ◆心配ごと相談(民生委員・児童委員が相談に応じます)

地区	相談会場	日時	連絡先
大田原	市福祉センター 相談室	毎週金日 午前9時~正午	市社協本所 ☎23-0223
		6月3日 6月10日 6月17日 6月24日	
		7月1日 7月8日 7月15日 7月22日	
		7月29日 8月5日	
湯津上	佐良土多目的交流 センター研修室	毎月第1水曜日 午後1時~4時	市社協湯津上支所 ☎98-3715
		6月1日 7月6日 8月3日	
		毎月第1、第3木曜日 午前9時~正午	
黒羽	市社協黒羽支所 相談室	6月2日 6月16日 7月7日 7月21日	市社協黒羽支所 ☎54-1849
		8月4日	

※相談日が休日のときは、期日を変更しますのでご注意ください。

◆ボランティア相談

「ボランティア活動をしたい」「ボランティア活動してくれる方の募集」などの相談に、市社協職員が応じます。
毎週月~金曜日(祝祭日、年末年始を除く)午前9時~午後5時 場所:市社協本所
電話、電子メールによる相談は随時受け付けます。(電話は午前9時~午後5時)

※人権相談・行政相談については、市広報(毎月1日発行)、ホームページをご覧ください。

[大田原市ホームページ] <http://www.city.ohatawara.tochigi.jp/>



ファミリーボランティア那須美

平成22年1月設立 会員数60人

ボランティア
紹介コーナー

家族でボランティア活動をするこゝで、地域に貢献することを目的として
います。特に親子のふれあいを大切にしています。

だいすき



たくさん集まりました

❁どんな活動をしていますか？

メンバーのみんな楽しんでながら、回収したペットボトルキャップを仕分けし、福祉施設に寄付しています。また、不定期で蛇尾川緑地公園の清掃活動を行っています。

活動を通して家族で社会貢献することで、親子や地域のつながり、絆が深まれば、とても嬉しく思います。

❁これからの活動について

「継続は力なり」といいますが、7年目をスタートさせることができました。これからはメンバーだけでなく、地域のみなさんと一緒に取り組めるような企画を考えたいです。

❁みんなに伝えたいこと

家族の絆は地域のつながりの原点であると思います。関係が希薄化していると言われる今だからこそ、家族で活動しましょう！



お姉さんと一緒に



初夏の風とともに…

ボランティア活動 はじめてみませんか？

市社協では、ボランティア活動をしたい方とボランティア活動に来てほしい方をつなげ、誰もが安心して暮らせる地域づくりのため、ボランティア活動の輪を広げていく活動をしています。

ボランティアとは自分でできることを自分の意志で周囲と協力しながら無償で行う活動です。出会いや喜び、感動など、かけがえの無いものを手にすることができます。

興味のある方は、まずはお気軽にご相談ください！



ボランティア募集情報は、市社協ホームページのブログに掲載しています。

大田原市社会福祉協議会は、みんなのふだんのくらしのしあわせを応援しています！

【本所】
浅香 3-3578-17
大田原市福祉センター内
☎ 23-1130・24-0294
FAX 23-1138

あすてらす
おおたわら
☎ 23-7375

【湯津上支所】
佐良土 853
佐良土多目的交流センター内
☎ 98-3715
FAX 98-8011

【黒羽支所】
黒羽田町 848
☎ 54-1849
FAX 54-2745

大田原市
社会福祉協議会
介護事業所

市社協ホームページ URL <http://www.ohatawara-shakyo.or.jp/> ⇒ 社協ホームページをリニューアルしました。